

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	山口大学	整理番号	1-2-024
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	TOEIC を活用した英語カリキュラム		
申請単位	大学全体		
申請担当者	岩部 浩三		
<p>(取組の概要)</p> <p>山口大学では、平成 14 年度より「TOEIC を活用した新カリキュラム」を実施している。このカリキュラムは全学部の入学者を対象とし、習熟度別のクラス編成を完全な形で実現しているが、その際、習熟度別クラス間の成績評価の問題も解決している。すなわち、TOEIC はプレースメント機能を持つとともに、各クラス間を横断する統一的な尺度としても利用できるからである。</p> <p>本取組の特徴として、とりわけ以下の 3 点が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レベルに応じ、短期的に達成可能な数値目標を持つことで、学習意欲を高めている。</li> <li>2. 最初の TOEIC 受験までの 2 ヶ月間に、自学自習のやり方を学び、学習習慣を身につけている。その結果、1 年生の平均スコアが 70-80 点向上している。</li> <li>3. 特に、キャッチアップレベルの授業を統一シラバスとすることで、統一教材開発や F D 活動を促し、教員の授業技術の共有と改善がスムーズになされている。</li> </ol>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、教養教育を専門教育と社会貢献とともに教育理念の一つの柱としている山口大学において、社会的ニーズに対応できる実践的なコミュニケーション能力の育成のために、「共通教育センター」が全学的に平成 14 年度より実施しているものであります。</p> <p>この取組は、「TOEIC の準備」クォーター制度、TOEIC 得点に応じた習熟度別クラス編成、4 種類の統一テキストの作成、e-learning の環境作り、年間 10 回に及ぶ F D 活動による個々の教員の努力など支援体制も整備され、一定の成果を上げているなど、他の大学の参考になり得る優れた事例であると言えます。</p>			